



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第 10 号
令和 2 年 2 月 25 日
校長 松丸 晴美

「親の心 子知らず・・・」

微風とともに、馥郁（ふくいく）たる梅の花の香りがただよう頃になりました。新型コロナウイルス感染に関する報道に心を痛める毎日ですが、学校では、うがいや手洗いの励行、マスク着用や教室換気を例年以上に呼び掛けているおかげか、インフルエンザにかかる生徒は非常に少なくほっとしています。

さて、多くの3年生が第一志望としている都立高等学校の第一次選抜検査は終わりましたが、今朝は、どの学年の教室も学年末考査試験の緊張感が漂っていました。小学校に比べると、中学校では急に学習量が多くなり、「定期考査」というまとまった試験期間があります。そのため、試験1週間前は諸活動を中止し、家庭学習（試験勉強）を十分に行うよう指導しています。

しかし結果と照らし合わせると、生徒の中には、塾に行くだけで勉強したような気持ちになっていたり、部活動がないのをこれ幸いと遊ぶ約束をしたりと、十分に準備をしないまま試験に臨む生徒も少なくないようです。放課後の補充教室「地域未来塾」を開催しても、毎年、参加する生徒は、櫛の歯が欠けるようにどんどん減っていく実態がありました。また例年に比べ、学校評価の1年生保護者自由記述欄に「補習学習の充実を」の声が多かった1年生を対象にした数学の「学年末考査対策補習授業」にも、教員から強く呼びかけたにもかかわらず、参加者はわずか10名でした。まさに、「親の心 子知らず」「先生の心 生徒知らず」とため息がでそうです。ですが、自らの中学生時代を振り返ってみると、「一夜漬け」のテスト勉強の時が多く、地道に試験勉強に取り組んでいなかった記憶があり

ます。そのくせ、テストが返却されると結果に一喜一憂し、「もっと勉強しておけばよかった・・・」という反省を何度も懲りずに繰り返していたことを思い出しました。

「家庭学習習慣の形成」に関する学校評価の設問では、教員の肯定的評価が20%にすぎないのに、生徒は60%、保護者は52%と回答しています。この差はどこから来るのでしょうか？ある保護者からは、「親は子供が机に向かっていると、勉強しているものと安心しているが、実は、学校の勉強とは関係のないことをしている時も多いのではないか。先生方は、テストの結果と家庭学習の時間を結び付けて考えるので、このような差が生じているのではないのでしょうか」という分析を聞かせてもらいました。なるほど！確かにそうかもしれません。また、小学校では、学年の数×10分が家庭学習時間の目安として指導している先生が多いようです。その計算式によると、小学校6年生では1時間、中学1年生は、70分家庭学習することが望ましいはずですが、中学生になると放課後の部活動で体力を消耗し、70分の家庭学習ができない生徒が多い傾向にあります。一方で、部活動を引退した3年生には、一日3時間以上の家庭学習に取り組んでいる生徒も少なくありません。教科の学習に加えて、生徒会活動や学校行事、部活動、友達との交流どれも力いっぱい取り組んでほしい。欲張りですが、それが親心であり、先生心(?)だと思います。学年末考査が終わると、いよいよ今年度最後の大きな学校行事「合唱コンクール」です。クラス全員で力を合わせて、素晴らしい合唱を創り上げてくれることを期待しています。

スキー移動教室を終えて

2 学年担当 長谷川健太

2 学年は、3 月 10 日から三泊四日で、スキー移動教室に行ってきました。生徒達の日頃の行いが良い？せいか、四日間とも晴天に恵まれました。実行委員会では、スキーの楽しさを味わう事はもちろんのこと、集団生活のルールやマナーを守る事、仲間との絆をより深める事を目標としました。結果、その多くがとても良い形で達成できました。具体的には、移動や集合などの集団行動がとても早く、どの場面でも時間に余裕をもって行動することができました。また、急な予定の変更にもスムーズに対応し、動けていました。各係が自分の仕事に責任を持ち、周囲にも呼びかけができたようです。また、仲間との絆を深めることもできました。昼間の実習では、クラスを超えた実習班のメンバーで協力し、楽しんでいました。夜は宿舎にてレク係が企画したゲーム大会や、クラスごとの出し物レクを行い、大いに盛り上がりました。みんなを楽しませるためにどうすれば良いのか工夫し、自分を捨て



て、恥ずかしがらずに発表しました。こういった人を楽しませる企画力やサービス精神は、ロボットや AI にはできない、まさに「これからの時代を生き抜くために必要な能力」と言えるでしょう。いいことばかりでなく、課題も見つかりました。持ち物の紛失や、レンタル品の破損などが一部起きました。また、不注意で宿舎の畳を汚してしまうというトラブルもありました。自己管理の点についてはこれからの学校生活でも改善が必要です。3 年生に向けて頑張りましょう。

避難拠点会議

副校長 林 直

2 月 1 日（土）、本校で避難拠点訓練が行われました。今回の参加者は、区民防災課、町会・地域の方々、本校 PTA 役員と避難拠点要員の教員で、計 40 名近くの方が参加をしました。昨年 9 月に災害時における避難拠点の初動対応力の向上と、災害対策本部のスムーズな設置、区避難拠点要員と学校避難拠点要員の連携強化等を目的として防災訓練実施をしましたが、今回は町会や地域の方々も加わり、いろいろな資器材の操作訓練をしました。



全体説明会の後、最初に区が所有する電気自動車からの給電訓練を行いました。非常時において電気はなくてはならないものです。全国的に新しい取り組みであり、災害時の強い味方として今後需要の増加が見込まれているそうです。その後、3 グループに分かれ、①組み立て式トイレの設置、②バーナーの取扱い、③発電機・投光器の取扱いを行いました。組み立て式トイレは、従来より軽量で組み立てが容易であり、プライバシーにも配慮したパネル式の最新版です。今回の訓練は 1 時間程度の短い時間でしたが、実物を操作することにより、大変分かりやすく理解することができました。



石神井西中学校は練馬区の石泉グループに属し、医療救護所にもなっています。災害がいつ起きてもすぐに対応できるように、今後も区役所、学校、地域、PTA 等が協力・連携した防災訓練を実施していく予定です。

令和元年度 展示会 2/8(土)

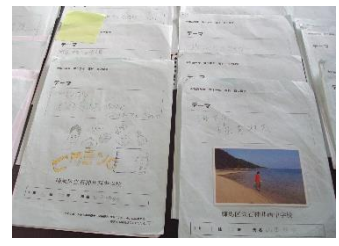
1年生作品



■美術科 パターンデザイン



■技術科 木工作品(棚)



■理科 自由研究

2年生作品



■家庭科 ハーフパンツ



■美術科 木彫時計



■OT 校外学習平和新聞

3年生作品



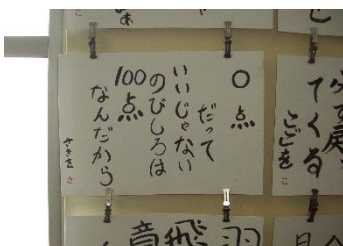
■OT 修学旅行スケッチブック



■英語科 日本文化紹介



■技術科 キーホルダー



■国語科 みつをに挑戦



■美術科 パソコンによるデザイン



■美術科 砂絵による模写

美術部作品



多くの保護者や地域の方々に日頃の学習の成果を観ていただきました。ご来校ありがとうございました。

令和元年度 展示会テーマ

無我夢中 ～果てしない芸術の道～

■生徒の活動記録■

卓球部 ●第 56 回練馬区中学校生徒総合体育大会 (1/12)

女子団体 第 3 位

バドミントン部 ●第 21 回冬季バドミントン大会練馬区選考会 (12/8)

男子シングルス 第 5 位 木下渚

●練馬区中学校バドミントン 1 年生大会 (2/2)

男子ダブルス 第 3 位 山田峻、上田航右

陸上部 ●第 58 回東京都中学校ロードレース大会 (1/19) (順位はレース毎のものです)

男子 1 年 2km 競走 第 6 位 吉田梨玖 8 分 04 秒

女子 1 年 1 km 競走 第 6 位 佐藤柊花 3 分 47 秒、第 7 位 野嶋優美 3 分 52 秒

第 4 位 長澤りいらエマンナ 3 分 49 秒、第 5 位 田中心彩 3 分 54 秒

女子 2・3 年 1km 競走 第 4 位 古川恵 3 分 42 秒、第 5 位 宮川琴音 3 分 51 秒

●武蔵野秋季市民体育祭 陸上競技大会 (武蔵野競技場) (10/27)

男子中学 1 年市外 1 0 0 m 第 2 位 紙田健吾 12 秒 86

女子中学 1 年市外 1 0 0 m 第 1 位 長澤りいらエマンナ 13 秒 60

男子中学 2 年市外 1 0 0 m 第 1 位 星野大和 12 秒 06

女子中学 2 年市外 1 0 0 m 第 2 位 宮川琴音 13 秒 43

男子中学市外 4 × 1 0 0 m R 第 2 位 48 秒 50 橋本裕仁 小倉竜也 小見野智広 星野大和

女子中学市外 4 × 1 0 0 m R 第 2 位 54 秒 13 田中心彩 宮川琴音 宮本美桜 長澤りいらエマンナ

バスケットボール部 ●第 19 回バスケットボール練馬ジュニア杯 1 年生交流大会 (1/19)

男子の部 優勝、女子の部 優勝

優秀選手賞 男子 矢野豊彩、女子 松浦璃子

●練馬区冬季研修大会 優秀選手賞

男子 小石澤仁、女子 関川寿音

■第 54 回練馬区連合ダンス発表会 (1/28) (練馬文化センター)

2 年 C 組「題名 Link～つなぐ～」 学校代表として参加

■第 11 回中学生「東京駅伝」大会(2/2)

晴天で好コンディションの中、味の素スタジアムにおいて、都内区市町村の中学 2 年生が集まり競い合う駅伝大会が行われました。チームは男子 17 名、女子 16 名で構成され、本校からは星野大和君、室田亮輔君、中村悠人君、川崎啓子さん、宮本美桜さんの計 5 名が練馬区代表チームの選手として出場しました。結果は男子は 12 位、女子 6 位と健闘しました。選手は大声援に励まされ一生懸命走り抜けました。応援に駆けつけてくださった皆様、ありがとうございました。

